

市では、平成21年度から公共施設の老朽化問題が喫緊の課題ととらえ、公共施設のあり方検討に取り組んできました。昨年11月からは新庁舎の建設工事や小学校区ごとの市民説明会を行うなど、高浜市を次世代へつなぐための具体的な一歩を踏み出しています。

市民の皆さんと現状・課題を共有し、ともに知恵と工夫を出し合って、この問題に向き合っていくため、今回は、港小学校区の公共施設のあり方について、現在の検討の方向性などを紹介します。

公共施設のあり方を考える

連載
第5回

— 高浜市を次世代へ
つなぐために —

「港小学校区の公共施設のあり方」

■高浜市がめざす公共施設の姿

現行ある施設以外に、新しい公共施設はつくらない!

学校を地域コミュニティの拠点として位置付け、他の施設との複合化を視野に入れた施設の改修・建替えを実施し将来にわたり持続させる。



■港小学校区における公共施設マネジメント 現在の検討の方向性

①港小学校の建替えにあわせ、他施設の機能の複合化

小学校は耐用年数の長寿命化（大規模改修：35年、建替え：70年）の観点に立ち、維持をしていきます。

建替えにあわせて集会施設などの機能を移転し、施設を複合化することにより、高齢者・親世代・こども・地域住民が集い、交流が生まれる新たな地域活動拠点の形成をめざします。

【港小学校の複合化イメージ】



※今後どの施設の機能がどの時期に移転するかを皆さんと協議していきます。

②高浜南部保育園、高浜南部ふれあいプラザを改修・建替え

高浜南部保育園、高浜南部ふれあいプラザは、今後も維持していくとして、大規模改修、建替えを進めます。

※ふれあいプラザについては、今後まち協の活動拠点のあり方の検討を行っていく中で、状況に応じて学校への機能移転を検討します。

■複合化のスケジュール（案）

施設名	時期
港小学校 (小学校複合化対象施設)	H37~H38 大規模改修 H55~H56 建替え H52~H56 複合化・跡地の検討
高浜南部幼稚園	★H31大規模改修
高浜南部保育園	★H45大規模改修
高浜南部ふれあいプラザ	★H33大規模改修 ★H61建替え

「高浜市の公共施設のあり方を考える市民説明会」に参加いただきありがとうございました。

昨年11月より、5つの小学校区で開催した説明会では、593人という多くの市民の皆さんに参加していただきました。説明会でいただいた意見は今後の参考にさせていただきます。また、アンケートの結果や資料などについては市公式ホームページをご覧ください。

【各小学校区の説明会参加者状況】

高浜140人、高取103人、港122人、吉浜137人、翼91人

◆公共施設のあり方検討に関する詳しい内容は、市公式ホームページのトップバナー「公共施設マネジメント」をクリック!

問合せ先 困行政グループ ☎52-1111（内線351）